# お知らせ

INFORMATION

No.2026-21
2026年11月
病体生理研究所

## 検査受託中止および新規受託項目について

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。
この度、下記検査項目について検査受託中止および新規受託の御案内をいたします。
何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

**【新規受託項目】**

**◆FCM 多発性骨髄腫解析検査〔38385〕** ...検査実施施設 S

※項目情報裏面参照

**《受託開始日》：2026年　12月　4日（金）受付分より**

**【中止項目】**

**◆CD38 マルチ解析（多発性骨髄腫解析検査）〔17038〕**

...検査案内P91　検査実施施設S

※新規項目受託開始に伴い、現項目を中止いたします。

**《最終受付日》：2026年　12月　3日（木）受付分まで**

一般財団法人東京保健会　病体生理研究所
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2　電話 03-3956-4101（代表）

## 【新規項目情報】

| | |
|---|---|
| 項目名称 | FCM 多発性骨髄腫解析検査 |
| コ　ー　ド | 38385 |
| 検体材料 | 骨髄液　1.0mL |
| 容器 | 19-D 遺伝子関連専用容器(骨髄液用) |
| 保存安定性 | 冷蔵(1 日) |
| 検査方法 | フローサイトメトリー法 |
| 所要日数 | 4～7 日 |
| 実施料(区分)<br>判断料 | 1882 点(D005-15)造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)<br>125 点(血液学的検査判断料) |
| 備考 | ※凍結保存は避けて下さい。<br>※受託可能日は月～金曜日到着分のみ可能。(祝祭日の到着は不可)<br>※リンパ球が少ない場合は多めに採取してください。<br>※検体は採取後、当日中にご提出ください。 |

| 変更箇所 | FCM 多発性骨髄腫解析検査 | CD38 マルチ解析<br>(多発性骨髄腫解析検査) |
|---|---|---|
| 検出抗体一覧 | CD19　CD20　CD45<br>CD56　CD138　BCMA<br>GPRC5D　SLAMF7<br>cy κ -chain　cy λ -chain | CD7　CD19　CD20<br>CD33　CD45　CD49e<br>CD54　CD56　CD138<br>MPC-1　cy κ -chain<br>cy λ -chain |

**FCM 多発性骨髄腫解析検査についての留意事項**

・抗 CD38 発現が低下した骨髄腫では、腫瘍細胞を充分に検出できない可能性があります。
・本検査は野生型の BCMA および野生型の GPRC5D を検出対象としています。変異型の BCMA および変異型の GPRC5D については検出できない可能性がありますのでご了承ください。

### ■骨髄腫細胞の特徴や治療標的の評価などに有用な検査です■

多発性骨髄腫（Multiple Myeloma:MM）はＢリンパ球系の最終分化段階にある形質細胞が腫瘍化することで発症する血液悪性腫瘍です。近年罹患者数は増加傾向にある一方、薬剤の開発が極めて活発な疾患でもあります。

近年ではキメラ抗原受容体遺伝子改変Ｔ細胞（CAR-T 細胞）治療や二重特異性抗体（BsAb）、抗体複合薬（ADC）などによる治療が開発されており、いずれも骨髄腫細胞表面に発現しているタンパク抗原を標的としています。

特に BCMA、GPRC5D、SLAMF7、などを標的とした治療は国内でも臨床導入されており、本検査はこれまでの骨髄腫細胞の同定・クローナリティ評価に加え、これらの治療標的抗原の発現を確認することで、標的治療前の腫瘍細胞の特徴や、治療後の抗原発現低下・消失などを把握するために有用な検査です。

参考文献；Harada H, et al:Blood 81(10):2658~2663, 1993.（検査方法参考文献）
Pillarisetti K, et al:Blood 135(15):1232~1243, 2020.
Riedhamme C, et al:Leukemia 40(4):730~738, 2026.（臨床的意義参考文献）

以上